

私にできること

山添村立山添中学校三年

中田 絢心

私は今、日本に住んでいます。生まれてからずっと。まわりは海に囲まれていて、蛇口をひねれば当たり前のように水が出てきました。そんなごく「普通」のところに住んでいます。

日本の地形の特徴と言えばみなさんは何を思いうかべますか。火山があつたり、四季があつたりと日本は自然が豊かな国です。その中でも、私は日本の地形と言われれば島国を思いうかべました。まわりを全て海に囲まれている、そんな国です。しかし、世界では今水不足と言われています。日本にいとそんな実感はありません。

「川も海もたくさんあるのに、どうしてだろう。」

地球上の水の約九十七パーセントは海です。そんな海は「海水」でできています。海水は

塩分濃度が高く、人間にとっては有害になります。そんな海水に対して人間が安全に使用できる水は「淡水」といって、地球上の水のうち約二・五パーセントしかありません。ここまで言えば分かるでしょうか。いくら海があっても人間にとつては有害、反対に人間が安全に使える淡水の量はごくわずか。地球は完全なる水不足だということです。

日本では、自動販売機やスーパー、コンビニエンスストアで綺麗な飲料水が売っています。蛇口をひねれば水も出てき、シャワーからも水が出てきます。私たちにとつては当たり前。しかし、世界に目を向けてみればそうでは無いのです。世界では約十四億二千万以上の方が水への脆弱性が高い、あるいは極めて高い地域で暮らしているそうです。その中でも子ども的人数は約四億五千万人です。世界の子どもの人口は約二十一億人なので、五人に一人の子どもが日々の生活に必要な水を十分に得られていません。

私たちが当たり前のように感じている綺麗な水は、本当に当たり前なものでしょうか。当たり前にしていいのでしょうか。今の環境を当たり前にしなくてほしいと私は思います。私と同じ年の子どもたちが、あるいはもつともつと小さな子どもたちが、今日を生きていくための水すらなくて苦しんでいます。そんな人達がいるのに、水を無駄にしているのでしょうか。

年々深刻化していく水不足問題について、私たちの認知は少ないです。ニュースやテレビ、授業などで耳にすることはあっても、日頃から気をつけて行動している人はまだまだ少ないと私は思います。手を洗っている時、お風呂に入っている時など、水を出しっぱなしにしていますか。自分一人くらい出しっぱなしにしても変わらないと思っっていますか。でも、水を三十秒間出しっぱなしにするだけで約六リットルもの水が無くなるのです。たった三十秒。そのたった三十秒の間に流れてしまった水でさえ得られない人たちが

がいます。無駄にしてしまった約六リットルの水を待っている人たちがいます。私は、決して難しいことを言っているわけではありません。手を洗う時、必要な時以外水を止めてほしい、お風呂でシャワーを出しっぱなしにしないでほしい。飲料水は必要な分だけ買ってほしい。無駄にしないでほしい。とても簡単なことだと思います。今すぐにもできるはずです。自分の行動が、日本の、世界の明日を変えるかもしれない。誰かを救えるかもしれない。そんな未来のために私たちで自分にできることをはじめませんか。